

令和2年2月28日

教職員の皆さまへ

コロナ危機が目の前に！ みんなで防ごう感染拡大

学長 荒川 哲男

新型コロナウイルス感染症への対応につきましては、2月5日に設置した「大阪市立大学新型コロナウイルス緊急対策本部」において本学の方針を策定して以降、感染拡大の防止に向けて、海外への渡航制限や海外からの研究者受入れ制限ならびに当面3月20日までのイベント等の中止または延期など、全学体制でご協力いただいております。

2月25日には、政府において「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」が決定され、個別の患者の感染経路解明や、感染者の入国を防ぐ「水際対策」から、「感染者集団が次の集団を生み出すことの防止が極めて重要」と強調され、新型コロナウイルスへの国内対応を大きく転換されました。また、その前日に開催された国の専門家会議においては、今後1～2週間で感染拡大のスピードを抑えられるかどうかの瀬戸際だという見解が示されました。これを受けて、昨日、安倍晋三首相が、3月2日（月）より春休みまでの期間、小中高校・特別支援学校の全国一斉臨時休校を要請される事態となっています。

こういった状況をふまえ、本学から一人の感染者も出さない、感染を拡げないために、教職員の一人一人がそれぞれ下記事項を実践いただくよう、最大限の協力を求めます。また、部局長の皆さまにおかれましては、職場環境の改善や所属教職員の体調管理や休暇勧奨など留意いただくようお願いいたします。

記

感染防止対策強化期間：本日～3月20日（金）

（1）不要不急の外出自粛と手洗い、咳エチケット（別添）の徹底

今は、誰もがどこでも感染しうる状況になっています。外出したら、自分の手にウイルスが付いていると思って、職場へ到着した時、食事前、帰宅した時など、必ず手洗いと手指の消毒を正しい方法（別添）で励行してください。特に、公共交通機関など不特定多数の人が利用する場所はリスクが高いので、外出時にはアルコール消毒液を携帯し、頻繁に手指を消毒するようにしてください。

現在、アルコール消毒液を企画総務課に設置していますので、必要な方は、携帯用ボトルを準備して取りに来てください。

(2) 積極的な水分補給と部屋の湿度コントロールの徹底

ウイルスは空気が乾燥すると活性化し、鼻や喉の粘膜は乾燥すると防御機能が低下します。喉の粘膜の働きを低下させず、ウイルスを排出する力を落とさないために、一日に1.5リットル以上の水分をこまめに分けて飲むようにしてください。万が一、のどにウイルスが付いた場合、15分で体内に侵入します。飲料をたえず飲むことは、のどのウイルスを胃に流し落として胃酸で殺菌する効果があります。

また、部屋の湿度は50~60%を目安に加湿すること、マスクを着用することも有効です。室内に人が集まるような状況（まずは可能な限り避けてください）では、上記に加えて十分な換気に努めてください。

(3) 時差出勤とマイカー通勤の推進

人混みを避けることが、感染防止には何より重要です。とくに公共交通機関は危険です。裁量労働制の教員と管理職員の皆さまは、通勤ラッシュを避けるようにしてください。また、不要な出勤を抑えた自宅勤務も推奨します。

裁量労働制でない職員の皆さまには、緊急措置として時限的に時差勤務を認めることとしますので、通勤ラッシュを避けた時差出勤をしてください。詳細については、人事課から周知します。

また、マイカー通勤についても緊急措置として時限的に認めることとします。こちらも改めて人事課から周知します。

(4) 休暇取得の推奨

発熱等のかぜ症状がみられる場合は、決して出勤しないでください。また、少しでも体調が悪ければ、迷わず休暇を取得し、休養してください。インフルエンザや風邪を広めないためにも、軽いうちに早めに休養することこそが重要です。

また、体の免疫力アップのためには、体に疲れやストレスを残さないことも重要です。体調が悪くなくても、積極的に休暇を取得し、十分な栄養と睡眠をしっかりって体調を整えることも肝要です。

(5) テレビ会議、ウェブ会議、メール会議の推奨

密閉空間での大人数での会議は、感染リスクが上がります。まずは、会議は可能な限り中止を検討してください。会議を実施する必要がある場合は、テレビ会議やウェブ会議、メール会議を積極的に活用してください。

やむを得ず、会議を開催しなければならない場合は、会議室の席の配置を1メートル以上開け、会議の時間をできるだけ短くし、構成員も最低限にしてください。時間が長くなる場合は、1時間に1度は十分な換気を行ってください。また、出席者全員の手指消毒とマスク着用の徹底と開催前後には机・椅子など手の触れる場所を消毒してください。